

令和元年版

延岡市農業所得アップアクションプラン 別冊
ベストミックス

action plan



延岡市農林水産部 令和元年7月

【目次】

・経営規模1haモデル①	… 1
メイン：主食用米 → 二条大麦 → たまねぎ（葉付/早進化）	
サブ：スイートコーン（トンネル早熟） → ズッキーニ（露地栽培）	
・経営規模1haモデル②	… 2
メイン：主食用米 → 二条大麦 → たまねぎ（葉付/早進化）	
サブ：スイートコーン（トンネル早熟） → 大豆（普通作付）	
・経営規模1haモデル③	… 3
③-1：スイートコーン（普通栽培） → そば	
③-2：スイートコーン（トンネル早熟） → 大豆	
・経営規模50aモデル①	… 4
主食用米 → 二条大麦 → たまねぎ（葉付/早進型）	
・経営規模30aモデル①	… 5
スイートコーン（普通栽培） → そば	
・キャベツ2期作+主食用米3haモデル（水田3分割/契約栽培型）	… 6

1 提案する体系名

経営規模1haモデル①(メイン2系統+サブ1系統の3系統作付)

農業形態: 専業農家

2 提案する作付体系

準備(施肥・耕耘・消毒等) 生育期間(播種・定植以降) 収穫期(施設野菜は収穫開始以降)

保有労働力: 3 (内事業主人数: 1)

組み合わせる品目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月												
①-A(35a) 主食用米→二条大麦→たまねぎ(葉付/早進型)																																																
主食用米 月別労働時間		1			3	4		1		2																1				3	4		1		2													
二条大麦 月別労働時間										4	6	3	1	1																											4							
たまねぎ(葉付/早進型)月別労働時間	720	922	28																		28	84	308	154	154	720	922	28																				
月別労働時間 合計	720	923	28	0	3	4	0	1	0	2	4	0	6	3	0	1	1	0	0	28	84	308	154	154	720	923	28	0	3	4	0	1	0	2	4	0	6	3	0	1	1	0	0	28	84	308	154	154
①-B(35a) 二条大麦→たまねぎ(葉付/早進型)→主食用米																																																
主食用米 月別労働時間														1				3	4		1		2																									
二条大麦 月別労働時間	6	3		1	1																					6	3		1	1																		
たまねぎ(葉付/早進型)月別労働時間								28	84	308	154	154	720	922	28																																	
月別労働時間 合計	6	3	0	1	1	0	0	28	84	308	154	154	720	923	28	0	3	4	0	1	0	2	4	0	6	3	0	1	1	0	0	28	84	308	154	154												
①-C(30a) スイートコーン(トンネル早熟)→ズッキーニ(露地栽培)																																																
スイートコーン(トンネル早熟)月別労働時間	114	24	111	30	321								114	24	111	30	321								114	24	111	30	321																			
ズッキーニ(露地栽培)月別労働時間								69	78	207	207	72									69	78	207	207	72																							
月別労働時間 合計	114	24	111	30	321	0	0	69	78	207	207	72	114	24	111	30	321	0	0	69	78	207	207	72	114	24	111	30	321	0	0	69	78	207	207	72												
作付体系 月別労働時間 合計	840	950	139	31	326	4	0	98	162	517	365	226	840	950	139	31	326	4	0	98	162	517	365	226	840	950	139	31	326	4	0	98	162	517	365	226												

作目名(作型名)	作付面積(a)	単位規模(10a)当たり 年間指標									作付面積当り労働時間(h)	作付面積当り農業所得額(円)	水田活用直接支払交付金	畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)	産地交付金
		収量(kg)	平均単価(円)	粗収益(円)	農業経営費(円)	うち原価償却費(円)	農業所得額(円)	農業所得率	労働時間(h)						
主食用米(普通栽培)	35	550	210	115,000	98,000	12,000	17,000	15%	3	11	59,500	-	-	-	
二条大麦(普通栽培)	35	360	54	20,000	59,000	13,000	-39,000	-195%	4	14	-136,500	122,500	137,592	35,000	
たまねぎ(葉付/早進型)	35	4,000	317	1,268,000	731,000	88,000	537,000	42%	685	2,398	1,879,500	-	-	87,500	
スイートコーン(トンネル早熟栽培)	30	1,300	338	439,000	374,000	40,000	65,000	15%	200	600	195,000	-	-	30,000	
ズッキーニ(露地栽培)	30	1,000	568	567,000	446,000	120,000	121,000	21%	211	633	363,000	-	-	-	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年間総労働時間(h) 3,656

農家単年所得合計額 2,773,092

労働生産性(円/h) 2,276

3 作付体系の特徴、注意点等

玉ネギについては、極早生/高単価の葉付玉ネギ(空飛ぶ新玉ネギ)を最重要作物として取り組むとともに産地交付金の地域設定として、地域振興作物に選定しており、玉ネギの作付に対する交付単価 25,000円/10a、さらに農地の集積加算として作付面積50a以上の助成対象者に対して10,000円/10aが設定されている。
また、二条大麦については、水田活用の直接支払交付金(戦略作物助成)35,000円/10aや畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策/面積払20,000円/10a、数量払5,460円/50kg(面積払を受けた場合はその分を控除))の助成を受けられるほか、産地交付金の地域設定として、麦の生産性向上取組助成10,000円/10aが設定されている。

経営規模1haモデル①「主食用米+大麦+玉ネギ(葉付/早進型)」2年サイクル/農地2分割ローテーション型+高収益野菜型1系統
全域で推進、対象:認定農業者または集落営農、認定新規就農者かつ家族経営(保有労働力:3)の農家
農地を3つに分け、メインの2圃場(35a×2)については、作付を1年ずらすことで、片方が手間のかかる玉ネギを作付している間、もう一方は手のかからない二条大麦を作付することで労働時間の最適化を図り、家族経営でも経営可能な作付体系。主食用米の後に二条大麦を栽培し、大麦の収穫後、6月中旬に緑肥としてクロタラリアを植え、花を付ける前の8月上旬にすき込む。9月上旬に播種・育苗、9月中旬に雑草処理や土壌消毒、ウネ立てによる水はけ対策等を行い、10月上旬に定植することで、1月中旬からの収穫早進化による販売額の増加を目指す。また、水はけの悪い農地の場合には、額縁明渠・弾丸暗渠の施工による水はけの改善を実施する。
サブの1圃場(30a)については、メインの作付が不作となった場合のバックアップ。比較的収益性の高いスイートコーン(トンネル早熟栽培)とズッキーニ(露地栽培)を組み合わせ、一定の収入額の確保を図る。
新玉ネギのピークとなる1月中旬から2月下旬にかけて保有労働力を超える労働力を要するため、臨時雇用者を45日間、320,000円(1,000円/h×8h×45d、91,429円/10a)を雇人費として計上する。
※県農業経営管理指標(2015年版)では、雇人費は860円/hで設定されているが、近年最低賃金の引き上げ傾向が強いことから1,000円/hで算出している。

「空飛ぶ新玉ネギ」の安定した早進化を図ることで、水田の裏作として全国的に玉ネギの栽培が盛んになる中でのブランドとしての優位性確立を目指す。
課題:産地交付金(麦の生産性向上取組助成)の設定上、出芽向上のための作溝・高畦等の排水対策と9月中旬までの播種(適期播種)、無人ヘリによる病害虫一斉防除等の共同施設・機械利用による低コスト化が要件となっているため、確実に要件をクリアすることが必要。
弾丸暗渠を施工する場合、トラクターに取り付けるサブソイラーが必要となるため、何等かのサブソイラー導入支援策が必要。

クロタラリア(緑肥)について
クロタラリアは高温環境を好むマメ科の緑肥作物で、肥料成分の補給に加え、堆肥や有機肥料を使用する際の不安要素である線虫の抑制に効果がある。コスト面でも種子代が3,000円/10a程度と安価である。
従来の長大型品種のクロタラリアは、背が高く茎が硬くなることから、すき込み作業の際に手間がかかるのに対し、最近登場した矮性のクロタラリアは、草丈が低く茎に柔軟性があるため、すき込み時の作業性に優れる。
留意点としては、湿害に弱いこと、排水の良い圃場であるか、排水対策を行う必要がある。

1 提案する体系名

経営規模1haモデル②(メイン2系統+サブ1系統の3系統作付)

農業形態: 専業農家

2 提案する作付体系

準備(施肥・耕耘・消毒等) 生育期間(播種・定植以降) 収穫期(施設野菜は収穫開始以降)

保有労働力: 3 (内事業主人数: 1)

組み合わせる品目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
②-A(35a) 主食用米→二条大麦→たまねぎ(葉付/早進型)																																					
主食用米 月別労働時間		1			3	4		1		2																	1			3	4		1		2		
二条大麦 月別労働時間											4		6	3		1	1																			4	
たまねぎ(葉付/早進型)月別労働時間	720	892	58																	28	84	308	154	154	720	892	58										
月別労働時間 合計	720	893	58	0	3	4	0	1	0	2	4	0	6	3	0	1	1	0	0	28	84	308	154	154	720	893	58	0	3	4	0	1	0	2	4	0	
②-B(35a) 二条大麦→たまねぎ(葉付/早進型)→主食用米																																					
主食用米 月別労働時間													1				3	4		1		2															
二条大麦 月別労働時間	6	3		1	1																		4		6	3		1	1								
たまねぎ(葉付/早進型)月別労働時間									28	84	308	154	154	720	892	58																	28	84	308	154	154
月別労働時間 合計	6	3	0	1	1	0	0	28	84	308	154	154	720	893	58	0	3	4	0	1	0	2	4	0	6	3	0	1	1	0	0	28	84	308	154	154	
②-C(30a) スイートコーン(トンネル早熟)→大豆(普通作付)																																					
スイートコーン(トンネル早熟)月別労働時間	114	24	111	30	321								114	24	111	30	321								114	24	111	30	321								
大豆 月別労働時間						6	4	5	3		5								6	4	5	3		5							6	4	5	3		5	
月別労働時間 合計	114	24	111	30	321	6	4	5	3	0	5	0	114	24	111	30	321	6	4	5	3	0	5	0	114	24	111	30	321	6	4	5	3	0	5	0	
作付体系 月別労働時間 合計	840	920	169	31	326	10	4	34	87	310	163	154	840	920	169	31	326	10	4	34	87	310	163	154	840	920	169	31	326	10	4	34	87	310	163	154	

作目名(作型名)	作付面積(a)	単位規模(10a)当たり 年間指標								作付面積当り労働時間(h)	作付面積当り農業所得額(円)	水田活用直接支払交付金	畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)	産地交付金	
		収量(kg)	平均単価(円)	粗収益(円)	農業経営費(円)	うち原価償却費(円)	農業所得額(円)	農業所得率	労働時間(h)						
主食用米(普通栽培)	35	550	210	115,000	98,000	12,000	17,000	15%	3	11	59,500	-	-	-	
二条大麦(普通栽培)	35	360	54	20,000	59,000	13,000	-39,000	-195%	4	14	-136,500	122,500	137,592	35,000	
たまねぎ(葉付/早進型)	35	4,000	317	1,268,000	731,000	88,000	537,000	42%	685	2,398	1,879,500	-	-	87,500	
スイートコーン(トンネル早熟栽培)	30	1,300	338	439,000	374,000	40,000	65,000	15%	200	600	195,000	-	-	30,000	
大豆(普通栽培)	30	270	115	31,000	34,000	6,000	-3,000	-10%	8	24	-9,000	105,000	122,040	30,000	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,046	1,988,500	227,500	259,632	182,500

年間総労働時間(h) 3,046

農家単年所得合計額 2,658,132

労働生産性(円/h) 2,618

3 作付体系の特徴、注意点等

玉ネギについては、極早生/高単価の葉付玉ネギ(空飛ぶ新玉ネギ)を最重点作物として取り組むとともに産地交付金の地域設定として、地域振興作物に選定しており、玉ネギの作付に対する交付単価 25,000円/10a、さらに農地の集積加算として作付面積50a以上の助成対象者に対して10,000円/10aが設定されている。
 二条大麦については、水田活用の直接支払交付金(戦略作物助成)35,000円/10aや畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策/面積払20,000円/10a、数量払5,460円/50kg(面積払を受けた場合はその分を控除))の助成を受けられるほか、産地交付金の地域設定として、麦の生産性向上取組助成10,000円/10aが設定されている。
 大豆については、水田活用の直接支払交付金35,000円/10a、畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策/面積払20,000円/10a、数量払9,040円/60kg(面積払を受けた場合はその分を控除))の助成を受けられるほか、産地交付金の地域設定として、生産性向上取組助成10,000円/10aが設定されている。

経営規模1haモデル②「主食用米+大麦+玉ネギ(葉付/早進型)」2年サイクル/農地2分割ローテーション型+高収益型(スイートコーン+大豆)1系統
 全域で推進、対象:認定農業者または集落営農、認定新規就農者かつ家族経営(保有労働力:3)の農家
 農地を3つに分け、メインの2圃場(35a×2)については、作付を1年ずらすことで、片方が手間のかかる玉ネギを作付している間、もう一方は手のかからない二条大麦を作付することで労働時間の最適化を図り、家族経営でも経営可能な作付体系。主食用米の後に二条大麦を栽培し、大麦の収穫後、6月中旬に緑肥としてクロタラリアを植え、花を着ける前の8月上旬にすき込む。9月上旬に播種・育苗、9月中旬に雑草処理や土壌消毒、ウネ立てによる水はけ対策等を行い、10月上旬に定植することで、1月中旬からの収穫早進化による販売額の増加を目指す。また、水はけの悪い農地の場合には、額縁明渠・弾丸暗渠の施工による水はけの改善を実施する。
 サブの1圃場(30a)については、メインの作付が不作となった場合のバックアップ。比較的収益性の高いスイートコーン(トンネル早熟栽培)と大豆(普通作付)を組み合わせ、一定の収入額の確保を図る。
 新玉ネギのピークとなる1月中旬から2月下旬にかけて保有労働力を超える労働力を要するため、臨時雇用者を45日間、320,000円(1,000円/h×8h×45d、91,429円/10a)を雇人費として計上する。
 ※県農業経営管理指標(2015年版)では、雇人費は860円/hで設定されているが、近年最低賃金の引き上げ傾向が強いことから1,000円/hで算出している。

「空飛ぶ新玉ネギ」の安定した早進化を図ることで、水田の裏作として全国的に玉ネギの栽培が盛んになる中でのブランドとしての優位性確立を目指す。
 課題:産地交付金(麦の生産性向上取組助成)の設定上、出芽向上のための作溝・高畦等の排水対策と9月中旬までの播種(適期播種)、無人ヘリによる病害虫一斉防除等の共同施設・機械利用による低コスト化が要件となっているため、確実に要件をクリアすることが必要。
 弾丸暗渠を施工する場合、トラクターに取り付けるサブソイラーが必要となるため、何等かのサブソイラー導入支援策が必要。

クロタラリア(緑肥)について
 クロタラリアは高温環境を好むマメ科の緑肥作物で、肥料成分の補給に加え、堆肥や有機肥料を使用する際の不安要素である線虫の抑制に効果がある。コスト面でも種子代が3,000円/10a程度と安価である。
 従来の長大型品種のクロタラリアは、背が高く茎が硬くなることから、すき込み作業の際に手間がかかるのに対し、最近登場した矮性のクロタラリアは、草丈が低く茎に柔軟性があるため、すき込み時の作業性に優れる。
 留意点としては、湿害に弱いため、排水の良い圃場であるか、排水対策を行う必要がある。

1 提案する体系名

経営規模1haモデル③(そば/大豆基幹作付)

農業形態: 専業農家 / 第1種兼業農家

2 提案する作付体系

準備(施肥・耕耘・消毒等)

生育期間(播種・定植以降)

収穫期(施設野菜は収穫開始以降)

保有労働力: 2 (内事業主人数: 1)

組み合わせる品目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
③-1 スイートコーン(普通栽培)+そば 100a																																					
スイートコーン(普通栽培) 月別労働時間		90	120		250	480								90	120		250	480								90	120		250	480							
そば 月別労働時間								15	12		10									15	12		10								15	12		10			
月別労働時間 合計	0	90	120	0	250	480	0	15	12	0	10	0	0	90	120	0	250	480	0	15	12	0	10	0	0	90	120	0	250	480	0	15	12	0	10	0	

組み合わせる品目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
③-2 スイートコーン(トンネル早熟)+大豆(普通作付) 100a																																						
スイートコーン(トンネル早熟) 月別労働時間	380	80	370	100	610	460							380	80	370	100	610	460							380	80	370	100	610	460								
大豆 月別労働時間						21	12	17	10		18								21	12	17	10		18							21	12	17	10		18		
月別労働時間 合計	380	80	370	100	610	481	12	17	10	0	18	0	380	80	370	100	610	481	12	17	10	0	18	0	380	80	370	100	610	481	12	17	10	0	18	0		

作目名(作型名)	作付面積(a)	単位規模(10a)当たり 年間指標								作付面積当り労働時間(h)	作付面積当り農業所得額(円)	水田活用直接支払交付金	畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)	産地交付金
		収量(kg)	平均単価(円)	粗収益(円)	農業経営費(円)	うち原価償却費(円)	農業所得額(円)	農業所得率	労働時間(h)					
スイートコーン(普通栽培)	100	1,200	288	346,000	268,000	54,000	78,000	23%	94	940	780,000	-	-	100,000
そば	100	150	246	37,000	34,000	6,000	3,000	8%	4	40	30,000	-	561,333	300,000
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	980	810,000	0	561,333	400,000

年間総労働時間(h)	977
農家単年収入合計額	1,771,333

労働生産性(円/h)	3,626
------------	-------

作目名(作型名)	作付面積(a)	単位規模(10a)当たり 年間指標								作付面積当り労働時間(h)	作付面積当り農業所得額(円)	水田活用直接支払交付金	畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)	産地交付金
		収量(kg)	平均単価(円)	粗収益(円)	農業経営費(円)	うち原価償却費(円)	農業所得額(円)	農業所得率	労働時間(h)					
スイートコーン(トンネル早熟栽培)	100	1,300	338	439,000	387,000	40,000	52,000	12%	200	2,000	520,000	-	-	100,000
大豆	100	270	115	31,000	34,000	6,000	-3,000	-10%	8	80	-30,000	350,000	406,800	100,000
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,080	490,000	350,000	406,800	200,000

年間総労働時間(h)	2,078
農家単年所得合計額	1,446,800

労働生産性(円/h)	1,392
------------	-------

3 作付体系の特徴、注意点等

そばについては、畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策/面積払13,000円/10a、数量払16,840円/45kg(面積払を受けた場合はその分を控除))の助成を受けられるほか、産地交付金の地域設定として、そばを基幹作物として作付する場合に20,000円/10a、そばの生産性向上取組助成10,000円/10aが設定されている。
 大豆については、水田活用の直接支払交付金35,000円/10a、畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策/面積払20,000円/10a、数量払9,040円/60kg(面積払を受けた場合はその分を控除))の助成を受けられるほか、産地交付金の地域設定として、生産性向上取組助成10,000円/10aが設定されている。
 また、スイートコーンについては、産地交付金の地域指定として振興作物助成10,000円/10aが設定されている。

③-1 そば(基幹作)+スイートコーン(普通栽培)
 全域で推進、対象: 認定農業者または集落営農、認定新規就農者かつ家族経営(保有労働力:2)の農家
 機械の導入が必要だが、生産規模に比べてスイートコーンの収穫時期を除けば労働時間は短く、労働生産性の高い作型。
 課題: 産地交付金の設定上、出芽向上のための作溝・高畦等の排水対策と9月中旬までの播種(適期播種)が要件となっているため、確実に要件をクリアすることが必要。

③-2 大豆(基幹作)+スイートコーン(トンネル早熟栽培)
 全域で推進、対象: 認定農業者または集落営農、認定新規就農者かつ家族経営(保有労働力:2)の農家
 機械の導入が必要だが、生産規模に比べてスイートコーンの収穫時期を除けば労働時間は短く、労働生産性の高い作型。
 課題: 産地交付金の設定上、出芽向上のための作溝・高畦等の排水対策と7月下旬までの播種(適期播種)、紫斑病防除実施等の適期防除が要件となっているため、確実に要件をクリアすることが必要。
 スイートコーンの収穫のピークとなる5月は保有労働力を超える労働力を要するため、臨時雇用者を26日間、130,000円(1,000円/h×5h×26d、13,000円/10a)を雇人費として計上する。
 ※県農業経営管理指標(2015年版)では、雇人費は860円/hで設定されているが、近年最低賃金の引き上げ傾向が強いことから1,000円/hで算出している。

③-1、2 共通課題: スイートコーンの収穫期(トンネル早熟:5月、普通:6月)は、早朝(午前3~5時)の作業となるため、兼業農家にとっては困難が生じる場合がある。

1 提案する体系名

経営規模50aモデル①(2系統作付)

農業形態: 専業農家

2 提案する作付体系

準備(施肥・耕耘・消毒等) 生育期間(播種・定植以降) 収穫期(施設野菜は収穫開始以降)

保有労働力: 2 (内事業主人数: 1)

組み合わせる品目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月												
①-A(25a) 主食用米→二条大麦→たまねぎ(葉付/早進型)																																																
主食用米 月別労働時間		1			2	3		1		2																1			2	3		1		2														
二条大麦 月別労働時間											3		4	2		1	1																										3					
たまねぎ(葉付/早進型)月別労働時間	480	693	20																	20	60	220	110	110	480	693	20																					
月別労働時間 合計	480	694	20	0	2	3	0	1	0	2	3	0	4	2	0	1	1	0	0	20	60	220	110	110	480	694	20	0	2	3	0	1	0	2	3	0	1	0	2	3	0	2	3	0				
①-B(25a) 二条大麦→たまねぎ(葉付/早進型)→主食用米																																																
主食用米 月別労働時間													1												2	3		1		2																		
二条大麦 月別労働時間	4	2		1	1																																											
たまねぎ(葉付/早進型)月別労働時間									20	60	220	110	110	480	693	20																												20	60	220	110	110
月別労働時間 合計	4	2	0	1	1	0	0	20	60	220	110	110	480	694	20	0	2	3	0	1	0	2	3	0	4	2	0	1	1	0	0	20	60	220	110	110	484	696	20	1	3	3	0	21	60	222	113	110
作付体系 月別労働時間 合計	484	696	20	1	3	3	0	21	60	222	113	110	484	696	20	1	3	3	0	21	60	222	113	110	484	696	20	1	3	3	0	21	60	222	113	110												

作目名(作型名)	作付面積(a)	単位規模(10a)当たり 年間指標								作付面積当たり労働時間(h)	作付面積当たり農業所得額(円)	水田活用直接支払交付金	畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)	産地交付金
		収量(kg)	平均単価(円)	粗収益(円)	農業経営費(円)	うち原価償却費(円)	農業所得額(円)	農業所得率	労働時間(h)					
主食用米(普通期栽培)	25	550	210	115,000	98,000	12,000	17,000	15%	3	8	42,500	-	-	-
二条大麦(普通栽培)	25	360	54	20,000	59,000	13,000	-39,000	-195%	4	10	-97,500	87,500	98,280	25,000
たまねぎ(葉付/早進型)	25	4,000	317	1,268,000	720,000	88,000	548,000	43%	685	1,713	1,370,000	-	-	62,500
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,730	1,315,000	87,500	98,280	87,500

年間総労働時間(h) 1,731

農家単年所得合計額 1,588,280

労働生産性(円/h) 1,835

3 作付体系の特徴、注意点等

たまねぎについては、極早生／高単価の葉付たまねぎ(空飛ぶ新玉ネギ)を最重点作物として取り組む。たまねぎは産地交付金の地域設定として、地域振興作物に選定しており、たまねぎの作付に対する交付単価 25,000円／10a、さらに農地の集積加算として作付面積50a以上の助成対象者に対して10,000円／10aが設定されている。
また、二条大麦については、水田活用の直接支払交付金(戦略作物助成)35,000円／10aや畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策／面積払20,000円／10a、数量払5,460円／50kg(面積払を受けた場合はその分を控除))の助成を受けられるほか、産地交付金の地域設定として、麦の生産性向上取組助成10,000円／10aが設定されている。

経営規模50aモデル①「主食用米+大麦+たまねぎ(葉付/早進型)」2年サイクル／農地2分割ローテーション

全域で推進、対象: 認定農業者または集落営農、認定新規就農者かつ家族経営(保有労働力:2)の農家

農地を2つ(25a×2)に分け、作付を1年ずらすことで、片方が手間のかかる玉ネギを作付している間、もう一方は手のかからない二条大麦を作付することで労働時間の最適化を図り、家族経営でも経営可能な作付体系。主食用米の後に二条大麦を栽培し、大麦の収穫後、6月中旬に緑肥としてクロタラリアを植え、花を着ける前の8月上旬にすき込む。9月上旬に播種・育苗、9月中に雑草処理や土壌消毒、ウネ立てによる水はけ対策等を行い、10月上旬に定植することで、1月中旬からの収穫早進化による販売額の増加を目指す。また、水はけの悪い農地の場合には、額縁明渠・弾丸暗渠の施工による排水対策を実施する。

新玉ネギのピークとなる2月は保有労働力を超える労働力を要するため、臨時雇用者を25日間、200,000円(1,000円/h×8h×25d、80,000円/10a)を雇人費として計上する。

※県農業経営管理指標(2015年版)では、雇人費は860円/hで設定されているが、近年最低賃金の引き上げ傾向が強いことから1,000円/hで算出している。

「空飛ぶ新玉ネギ」の安定した早進化を図ることで、水田の裏作として全国的にたまねぎの栽培が盛んになる中でのブランドとしての優位性確立を目指す。

課題: 産地交付金(麦の生産性向上取組助成)の設定上、出芽向上のための作溝・高畦等の排水対策と9月中旬までの播種(適期播種)、無人ヘリによる病害虫一斉防除等の共同施設・機械利用による低コスト化が要件となっているため、確実に要件をクリアすることが必要。

弾丸暗渠を施工する場合、トラクターに取り付けるサブソイラーが必要となるため、何等かのサブソイラー導入支援策が必要。

クロタラリア(緑肥)について

クロタラリアは高温環境を好むマメ科の緑肥作物で、肥料成分の補給に加え、堆肥や有機肥料を使用する際の不安要素である線虫の抑制に効果がある。コスト面でも種子代が3,000円 / 10a程度と安価である。

従来の長大型品種のクロタラリアは、背が高く茎が硬くなることから、すき込み作業の際に手間がかかるのに対し、最近登場した矮性のクロタラリアは、草丈が低く茎に柔軟性があるため、すき込み時の作業性に優れる。

留意点としては、湿害に弱いこと、排水の良い圃場であるか、排水対策を行う必要がある。

1 提案する体系名

経営規模30aモデル①(そば基幹作)

農業形態: 第1種/第2種兼業農家

2 提案する作付体系

準備(施肥・耕耘・消毒等)

生育期間(播種・定植以降)

収穫期(施設野菜は収穫開始以降)

保有労働力: 2 (内事業主人数: 1)

組み合わせる品目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
①-A スイートコーン(普通栽培)+そば(30a)																																				
スイートコーン(普通栽培) 月別労働時間		27	36		36	183								27	36		36	183								27	36		36	183						
そば 月別労働時間								5	4		3									5	4		3								5	4		3		
月別労働時間 合計	0	27	36	0	36	183	0	5	4	0	3	0	0	27	36	0	36	183	0	5	4	0	3	0	0	27	36	0	36	183	0	5	4	0	3	0
月別労働時間																																				
月別労働時間 合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
作付体系 月別労働時間 合計	0	27	36	0	36	183	0	5	4	0	3	0	0	27	36	0	36	183	0	5	4	0	3	0	0	27	36	0	36	183	0	5	4	0	3	0

作目名(作型名)	作付面積(a)	単位規模(10a)当たり 年間指標								作付面積当り労働時間(h)	作付面積当り農業所得額(円)	水田活用直接支払交付金	畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)	産地交付金
		収量(kg)	平均単価(円)	粗収益(円)	農業経営費(円)	うち原価償却費(円)	農業所得額(円)	農業所得率	労働時間(h)					
スイートコーン(普通栽培)	30	1,200	288	346,000	268,000	54,000	78,000	23%	94	282	234,000	-	-	30,000
そば	30	150	246	37,000	34,000	6,000	3,000	8%	4	12	9,000	-	168,400	90,000
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	294	243,000	0	168,400	120,000

年間総労働時間(h) 293

農家単年所得合計額 531,400

労働生産性(円/h) 3,626

3 作付体系の特徴、注意点等

そばについては、畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策/面積払13,000円/10a、数量払16,840円/45kg(面積払を受けた場合はその分を控除))の助成を受けられるほか、産地交付金の地域設定として、そばの基幹作物作付助成20,000円×10a、そばの生産性向上取組助成として10,000円/10aが設定されている。
 また、スイートコーンについては、産地交付金の地域指定として振興作物助成10,000円/10aを受けられる。

「そば(基幹作)+スイートコーン(普通栽培)」
 全域で推進、対象:認定農業者または集落営農、認定新規就農者かつ家族経営(保有労働力:2)の農家兼業農家を想定した作型で、労働時間をできる限り圧縮し、小規模ではあるが労働生産性は高い。

課題:産地交付金の設定上、出芽向上のための作溝・高畦等の排水対策と9月中旬までの播種(適期播種)が要件となっているため、確実に要件をクリアすることが必要。
 スイートコーンの収穫期(6月)は、早朝(3~5時)の作業となることから兼業農家にとっては困難が生じる場合がある。

